

ICT環境の整備

伊丹市立総合教育センター

所長 永嶺 香織

学校現場においては、一人一台のタブレット端末の整備が終わり、今、授業での活用や家庭への持ち帰りなどが進んでいます。このような急激なICT活用に不安と戸惑いを覚えている先生方もおられるのではないのでしょうか。

なぜ、今、ICT化を進めなければならないのでしょうか。理由は2つです。1つは、我が国は急激に人口が減少しており、一人ひとりの生産性を高めなければ社会を維持することができなくなってしまうことです。もう1つは、今や日常生活の中でほとんどの人がスマートフォンを持ち歩き、店舗の支払いはキャッシュレスになり、様々な手続きもオンライン化が進んで



います。仕事では、常にパソコンを使用するなど生活でも仕事でもICTは切り離すことができない社会になっていることです。また、すでにICTを活用するスキルのない人は、就職が難しい時代となってきています。

このような中で、さらに情報化が進む時代を生きていかなければならない子どもたちに、「学校教育にICTは不要だ」と言ってICTの活用に取り組もうとしないのは社会の現実を見失っていると言えます。

民間企業では、早くからオンライン会議や在宅勤務を可能とし、オンライン化やペーパーレス化が進んでいます。一方、学校現場には、まだ「紙でできることをわざわざICTを導入してまでやるのか」といった旧態依然とした価値観が存在しています。今、このような改革を行わなければどうなるのか。結局は様々な教育課題に人力で対応しなければならないために教師自身が疲弊してしまうのです。

これからの教育に必要なことは、生活を豊かにする道具としてICTを活用する経験を積み重ね、ICTに何ができるのか、どのようなことに活用するのが便利なのか、逆に、ICTにできないことは何かなどを体験的に学ぶことです。今は導入期で大変ですが、導入期を過ぎれば我々の日常が変わり、本市の教育の質が向上することは間違いありません。

「ICT環境の整備」と「これからの教育」

現在、我が国は急激な変化を迎えています。デジタル庁の設立等を含む「デジタル関連6法」も成立し、今後も社会のデジタル化はますます加速することが予想されます。そのような中、教育に関しても「GIGAスクール構想の実現」をはじめ、様々な形でICT環境の整備を行い、ICTの活用を推進しています。今回は「これからの教育」はどうなるのかについてまとめました。

これからの時代の変化

なぜ、今ICT化を進めなければならないのか

- 我が国は急激に人口が減少しており、一人ひとりの生産性を高めなければ社会を維持することができない
- 日常生活でほとんどの人がスマートフォンを持ち歩き、店舗の支払いもキャッシュレスになり、様々な手続きもオンライン化
- 生活でも仕事でもICTは切り離すことができない社会となっており、ICTを活用するスキルのない人は就職が難しい時代

このようなデジタル時代を生き、
未来を支える子どもたちのために・・・

これからの時代に求められる能力観

- 生産性の向上にはICTの活用は不可欠。以下のようなスキルが求められている。
- ネット上に偏在している情報にアクセスし、無駄なく情報を入手するスキル
 - 情報を整理して意思決定に必要な情報としてまとめるスキル
 - 問題解決をするためにクラウド等を用いてスピーディーに対応するスキル

教育も「ICTの活用」が必要

しかし・・・

【今までは】

- 学校のICT環境整備状況は脆弱かつ危機的な状況
- 学校におけるICT利活用は世界から後塵を拝している状況
- 子供の学校外でのICT使用は「学習外」に比重

【未来に向けて】

- 「GIGAスクール構想の実現」
 - 1人1台タブレット端末をはじめとしたICT機器の整備
 - 高速通信ネットワーク環境の整備
- 新学習指導要領において「**情報活用能力**」を「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置づけ

体験的にICTを学びながら、
教育の質の向上につなげる

情報活用能力とは・・・【情報活用能力の3つの柱】

- **知識及び技能**(何を理解しているか、何ができるか)
 - 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
 - 問題解決・探究における情報活用の方法の理解
 - 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解
- **思考力、判断力、表現力等**(理解していること、できることをどう使うか)
 - 問題解決・探究における情報を活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)
- **学びに向かう力、人間性等**(どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
 - 問題解決・探究における情報活用の態度
 - 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度

情報活用能力育成に向けて

教師のICT活用力を高めるために

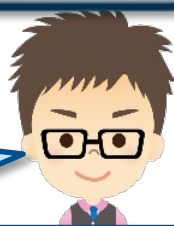
- **研修の受講**
 - 教育委員会事務局主催の各研修や、教科書会社・ICT関連企業等が行っているオンラインを活用した研修を受講する。
- **書籍や動画による学習**
 - ICTに関する書籍や、インターネット上の様々な活用事例集を収集し、参考にする。(総合教育センター5階においても、ICTに関する書籍を貸出しています)
 - 文部科学省や、ソフトの開発会社等が作成したICT活用動画を視聴する。
- **ICT活用の経験を積む**
 - 授業での活用について、まずは自身が**できることからやってみる**。
 - 「伊丹市版ICT活用マニュアル」内の「ICT活用チェック表」を利用する等、**自身ができることとできないことを把握し**、少しずつスキルを高めていく。
 - **ICTの活用が得意な先生の授業を参観し**、自身の授業に取り入れる。

児童生徒の情報活用能力育成のために

- **ICTの活用機会の確保**
 - 朝の帯学習や各種行事など**活用の機会を意識的に増やしていく**。
 - タブレット端末を持ち帰って、**家庭でも学習ができるような課題**を設定する。
- **学習場面の適切な設定**
 - 授業において、教科の特性や児童生徒にどのような力をつけたいのか等、**ICT活用の目的を踏まえた上で学習場面の設定**をする。
 - **問題が起こった際は、良い指導の機会であると捉え**、情報モラルの育成を図る。

夏の研修案内

総合教育センターでは夏の研修講座を多数予定しています。後日、研修案内とともに申し込みに関する通知をお送りしますので、ぜひご参加下さい。以下、いくつかの講座を紹介いたします。



ICTを活用した授業力の向上をめざす先生に

授業力向上講座②

日時：7月29日（木）14:00～16:00

講師：鳴門教育大学 教授 藤村 裕一 氏

演題：情報活用能力を効果的に育成する指導法について

授業力向上講座④

日時：8月6日（金）14:00～16:00

講師：関西大学 教授 小柳 和喜雄 氏

演題：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたICTの効果的な活用方法

個に応じた指導力の向上をめざす先生に

生徒指導対応力向上研修②

日時：8月4日（水）14:00～16:00

講師：尼崎医療センター 小児科医長 石原 剛広 氏

演題：発達特性の理解と関わりについて

～医教連携から見える臨床～

特別支援教育研修①

日時：8月5日（木）14:00～16:00

講師：関西大学 教授 串崎 真志 氏

演題：HSP（ハイリーセンシティブパーソン）の児童生徒への理解と学校でできる支援

※各研修の演題は変更される場合があります。

